

寄附を受け付けている主な事業と実施事業の例

1

龍ヶ崎を支える産業を応援し、
安心して働けるまちづくり事業



▶事業承継支援事業（1,800千円）

地域の発展に貢献する次世代の担い手（後継者）を育てる支援

▶龍ヶ崎トマト産地育成プロジェクト推進事業（5,500千円）

市のブランド農産物「龍ヶ崎トマト」の担い手の育成

2

龍ヶ崎に にぎわいを生み、
住みたい・行きたいまちづくり事業



▶マラソン大会開催事業（5,990千円）

「走る」きっかけの機会創出と、市民の健康増進や運動実施率の向上

▶スポーツライミングのまち龍ヶ崎推進事業（44,200千円）

トップクライマーが身近にいる優位性を活かし、まちの活性化や定住促進などにつなげる

▶地域ブランディング推進事業（4,620千円）

市の魅力や特性を効果的に情報発信することで、市内外のイメージアップを図る。あわせて、シビックプライドの醸成、推奨意欲を向上させ、地域の活性化につなげる

▶牛久沼活用事業（910千円）

地域資源としてのポテンシャルを活かし、交流人口増加の取り組みを展開

3

龍ヶ崎で結婚し、子どもを産み、
育てたくなるまちづくり事業



▶こどもの居場所・遊び場創出事業（9,000千円）

放課後や夏休み等に校外で過ごす子どもたちが、気候や天候にかかわらず、自由に伸び伸びと活動する居場所・遊び場を開設

▶5歳児健康診査事業（2,390千円）

こどもの特性に応じた適切な支援や、生活習慣、その他育児に関して指導を早期に行うため、年中の時期に健康診査を実施

▶小中学校体育館空調整備事業（49,640千円）

気候に左右されることなく、児童生徒がより安全・快適に体を動かす環境を確保するとともに災害時の避難所としての機能強化を図る

4

龍ヶ崎に人が集い、
安心して暮らせるまちづくり事業



▶気象防災アドバイザー連携強化事業（2,570千円）

気象予報士を活用し、災害対応等の際、気象解説・分析等からの確かな対応を図ることで防災対応力の向上を図る

▶データ活用推進事業（4,960千円）

業務量数値化の調査を行い、業務フローやボトルネックを可視化。業務改善や適正な人員配置、時間外勤務等の縮減に取り組む

▶空家等対策事業（3,990千円）

空家等の発生抑止や活用、適正な管理がされていない空家等の解消を促進

▶空家バンク活用事業（2,900千円）

空家の管理不全予防と、移住・定住を促進

▶防犯カメラ等設置事業（11,290千円）

防犯カメラの更新、地域団体が設置する防犯カメラの費用の一部補助により、犯罪の未然防止に取り組む

▶公共施設への太陽光発電設備導入推進事業（―）

再生可能エネルギーの自家消費により、平常時には温室効果ガスの排出を抑制し、非常時には非常用電源として活用

▶非常災害用備蓄事業（6,760千円）

茨城県地震被害想定調査報告書（H30.12）に基づく備蓄食糧・備蓄品の充実を図る

5

龍ヶ崎で多様な
人々が活躍するまちづくり事業



▶市民活動サポート推進事業（2,000千円）

市民自らが考え・行動する活発な市民活動の促進するため、自主的な社会貢献活動をしようとする市民団体に財政的支援を行う

▶まちづくりポイント制度推進事業（1,600千円）

市民活動に参加するきっかけに、市が指定する活動に協力・参加した市民に、LINEのシステムからポイントを付与

6

龍ヶ崎で新しい時代の流れを
力にするまちづくり事業



※ 応相談